

JS 電子納品チェックシステム
設計用
Ver.5.



インストールマニュアル
操作マニュアル



日本下水道事業団

目次

第1章 インストール編.....	1
1-1 ソフトの動作環境を確認しましょう.....	2
1-2 ソフトをコンピュータにセットアップしましょう.....	3
1-3 動作を確認しましょう.....	6
1-4 コンピュータから「チェックシステム」を消す方法.....	7
第2章 操作編.....	10
2-1 チェックシステムの画面説明.....	11
2-2 操作手順.....	12
2-2-1 媒体読込.....	12
2-2-2 検査.....	14
2-2-3 結果の確認.....	16
2-2-4 検査結果の印刷.....	20
2-2-5 システムの終了.....	22
第3章 リファレンス編.....	23
3-1 機能解説（メニュー）.....	24
3-2 機能解説（ツールバー）.....	26
3-3 機能解説（スライドバー）.....	27
3-3-1 「媒体読込」スライドバー.....	28
3-3-2 「検査」スライドバー.....	29
3-3-3 「出力」スライドバー.....	30
3-4 右クリックメニュー.....	32
3-5 チェック結果表示.....	33
3-6 データチェック内容一覧.....	36
第4章 設定の初期化.....	47
4-1 業務設定情報の初期化.....	48
4-2 媒体情報保存場所の初期化.....	49

第1章 インストール編



〔この章の概要〕

- ・ ソフトの動作環境
- ・ インストール
- ・ 動作確認
- ・ アンインストール

1-1 ソフトの動作環境を確認しましょう

JS 電子納品チェックシステム（設計用）（以下、チェックシステム）を利用するためには、お使いのコンピュータの仕様が以下の条件を満たしている必要があります。ソフトウェアをセットアップする前にお使いのコンピュータの仕様をご確認ください。

・コンピュータのスペックは？

CPU	下記 OS が動作する環境
ハードディスク	納品されるファイルの容量以外にシステム用として 400MB の空き容量
ディスプレイ	1024×768 ドット以上が表示可能なもの 16 ビット色以上の発色可能なディスプレイアダプタ
メモリ	512MB 以上（1GB 以上を推奨）
マウス	本体に対応し、日本語 Microsoft Windows で使用可能なもの
プリンタ	本体に対応し、日本語 Microsoft Windows で使用可能なもの
OS	Microsoft Windows 10 Microsoft Windows 11
CD-ROM	納品媒体読込用として必要です。
ハードウェア	DOS/V（PC/AT 互換機）
ソフトウェア	.Net Framework 4.0 が必要です。 PDF ファイル閲覧用として Adobe Reader を使用します。

※必要メモリ、ハードディスク容量はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

※本ページに記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※本ページに記載の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

チェックシステムの動作環境は、プログラムが稼動する最低条件として提示しています。媒体読込時、成果品のファイル数などによっては、最低条件の動作環境では処理できない場合もあります。CPU 能力、メモリ実装量、ハードディスクの空き容量など、物件の規模によって実行環境は変化します。

また、媒体読込時ではハードディスク内にファイルをコピーするため、一時的にデータ量が 3 倍になります。このようなことも考慮した空き容量の確保が必要になります。

ハードディスクの容量が足りない場合は、外付けのハードディスクを設置するなど、状況に応じて対処してください。

1-2 ソフトをコンピュータにセットアップしましょう

チェックシステムをお使いのコンピュータで利用するためには、セットアップ作業が必要です。コンピュータの電源を入れ起動した後、セットアッププログラム「CH_SETUP_D_#.##.EXE」（#.##はバージョン番号が入ります）をダブルクリックして起動します。

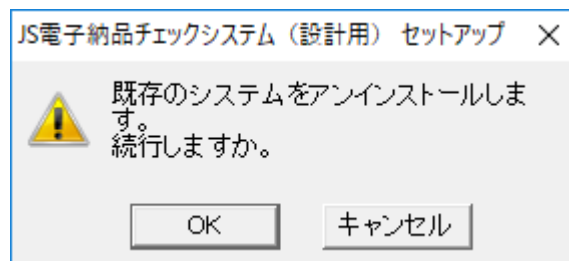
※Administrator 権限（管理者権限）があるログインでセットアップを行ってください。

【作業手順】

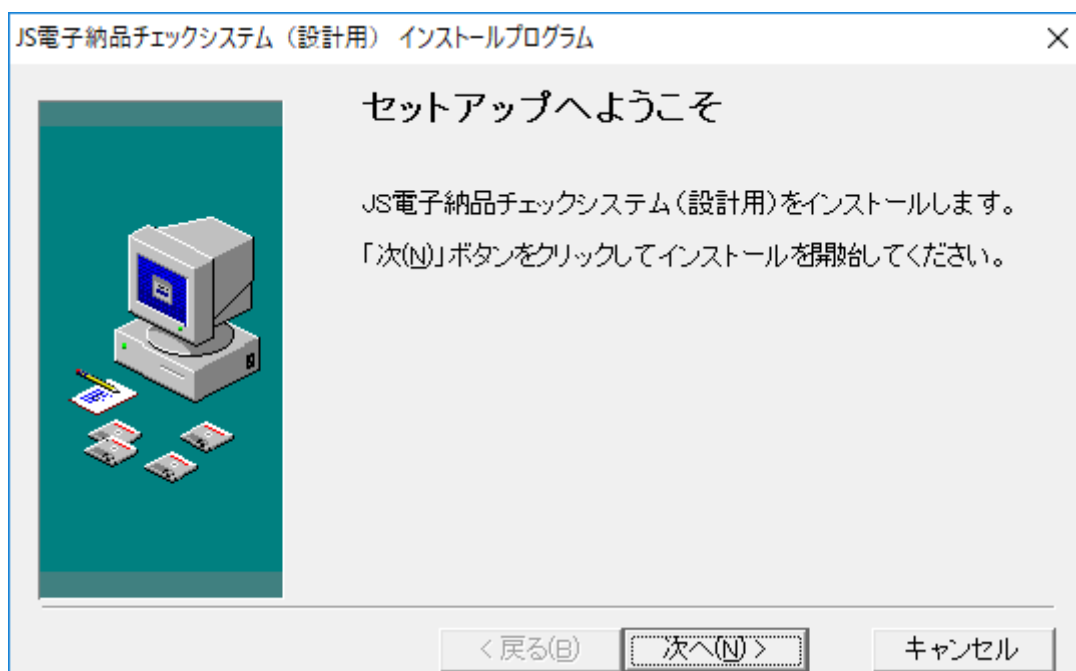
1. 既存のシステムをアンインストールします。

既存のシステムがインストール済みの場合は、既存のシステムをアンインストールするメッセージが表示されます。

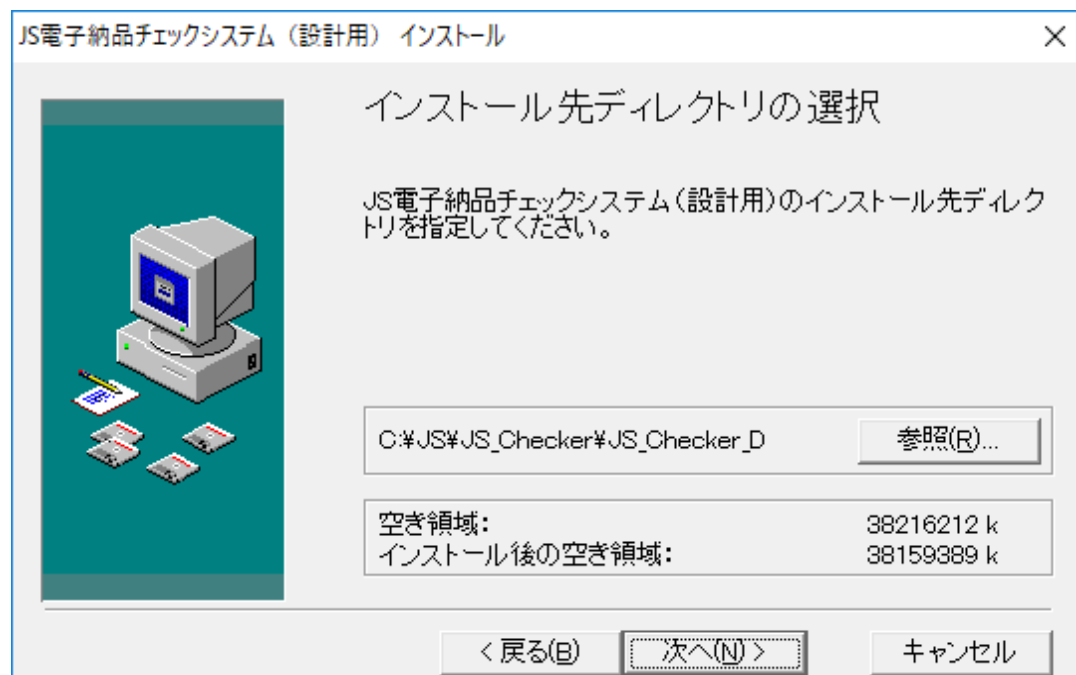
※未インストールの場合は表示されません。



2. セットアップを開始します。
「次へ」ボタンを押してください。



3. インストールするフォルダを指定してください。OS などの動作に影響を与えないように十分な領域があるドライブにインストールしてください。
インストール先を指定し、「次へ」ボタンを押してください。



4. セットアップを開始します。
「次へ」ボタンを押すとセットアップが開始されます。



5. 完了メッセージが表示されます。
「完了」ボタンを押して終了します。



1-3 動作を確認しましょう

チェックシステムが起動するか確認します。

【作業手順】

1. 「スタート」「プログラム」「JS 電子納品システム」「JS 電子納品チェックシステム（設計用）」を起動してください。
2. 「媒体読込」画面を表示します。メッセージにしたがって操作してください。詳細は、「2-2 ソフトの操作手順」を参照ください。

媒体読込

読込媒体を指定してください。

チェックする納品媒体のドライブを一覧から選択するか、参照ボタンをクリックしてINDEXファイルを選択してください。

一覧から選択

C:[ローカル ディスク]

D:[DVD ドライブ]

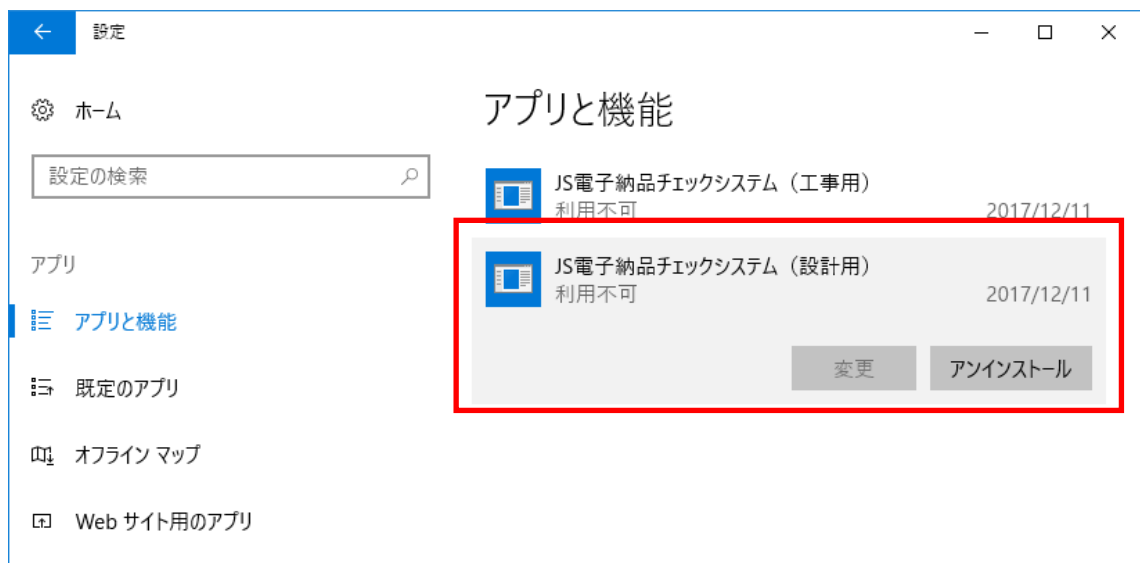
ファイルを指定

検査を行う

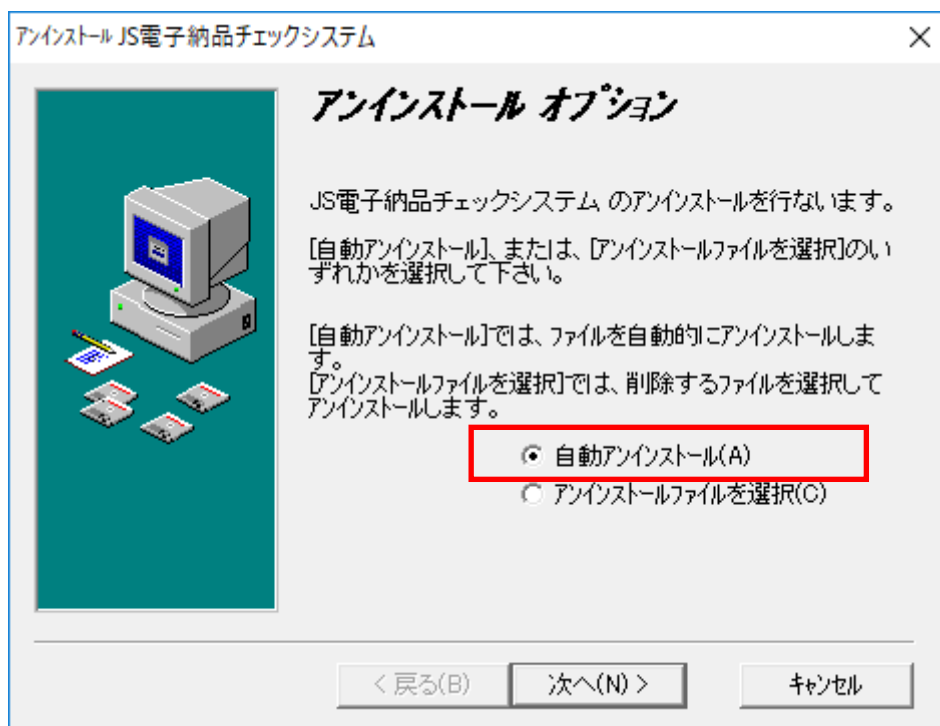
1-4 コンピュータから「チェックシステム」を消す方法

【作業手順】

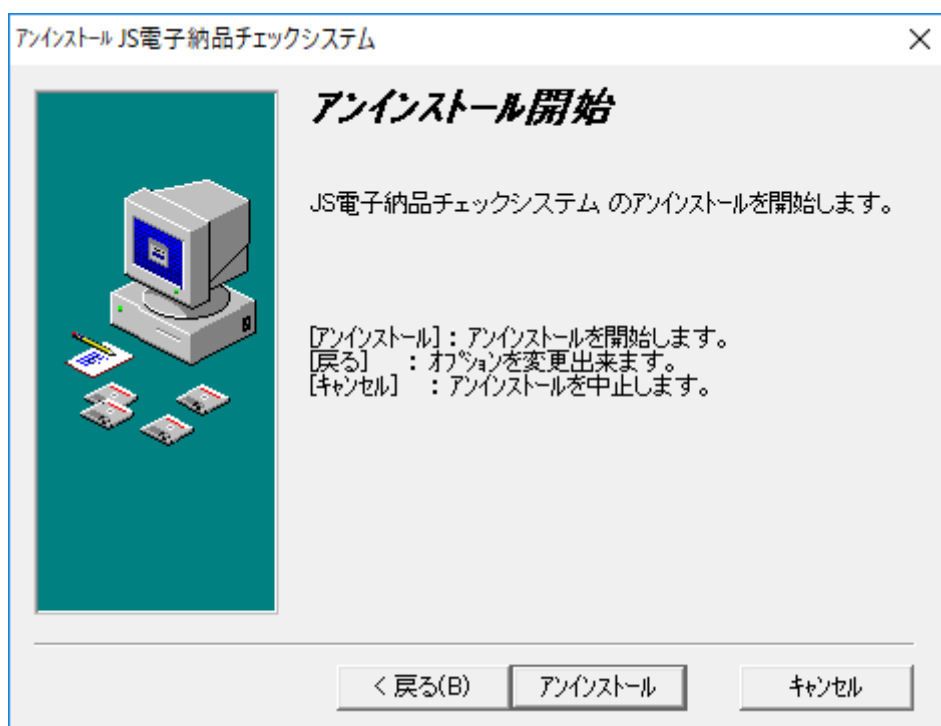
1. 「設定」の「アプリと機能」を起動します。削除したいアプリケーション『JS 電子納品チェックシステム（設計用）』を選択し、「アンインストール」ボタンを押してください。



2. 「自動アンインストール」ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンを押してください。
インストール済みのすべてのファイルをアンインストールします。



3. 「アンインストール」ボタンを押してください。



4. アンインストールが実行され、システムがコンピュータ上から削除されます。

第2章 操作編



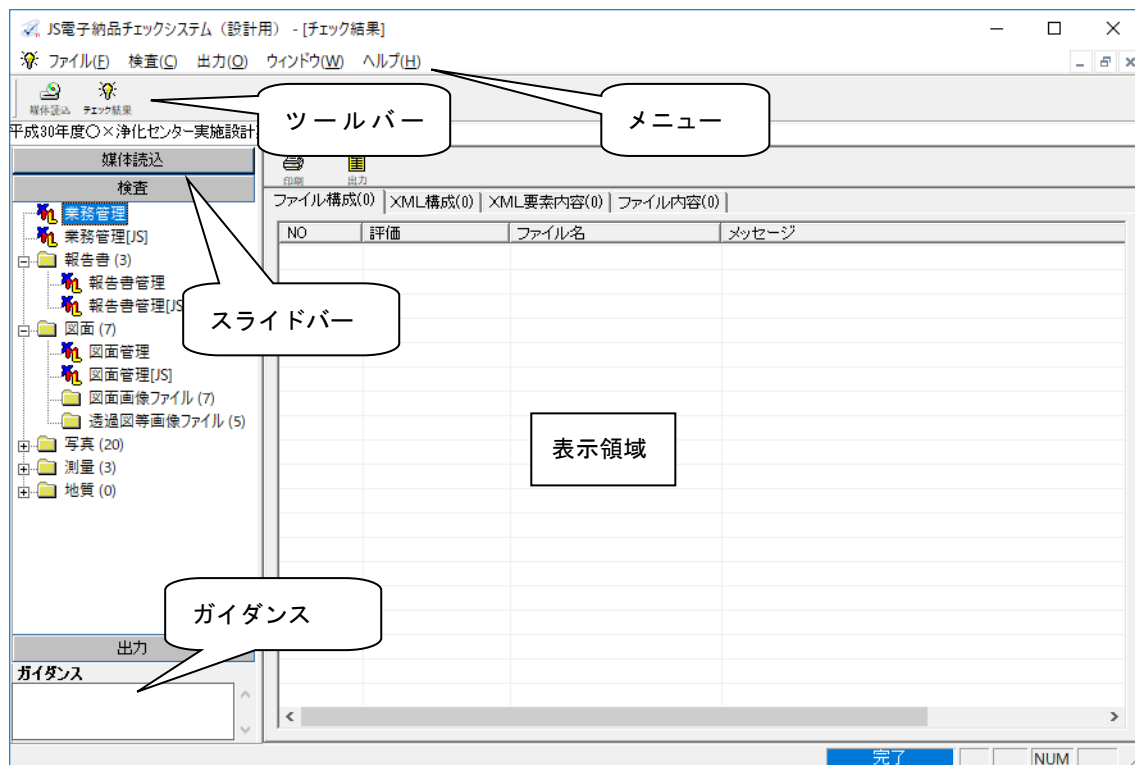
〔この章の概要〕

- ・ チェックシステムの画面説明
- ・ ソフトの操作手順

2-1 チェックシステムの画面説明

画面構成、名称は以下のとおりです。

◎メイン画面



項目	内容
作業領域	ファイル一覧、チェック結果などを表示する領域です。
メニュー	各種コマンドを実行します。
ツールバー	メニューで実行するコマンドで、よく使うものをアイコンで表示しています。
スライダー	上から順に、検査を実行する手順に沿って作業を行うことができます。
ガイダンス	各コマンド、機能の説明が表示されます。 アイコンやメニュー上にマウスを近づけると、説明が表示されます。

2-2 操作手順

2-2-1 媒体読込

1. 「スタート」「プログラム」「JS 電子納品システム」「JS 電子納品チェックシステム（設計用）」からチェックシステムを起動します。
2. 媒体の読込先を指定します。

媒体読込

読込媒体を指定してください。

チェックする納品媒体のドライブを一覧から選択するか、参照ボタンをクリックしてINDEXファイルを選択してください。

一覧から選択

C:[ローカル ディスク]
D:[DVD ドライブ]

ファイルを指定


検査を行う

項目	内容
「一覧から選択」ラジオボタン	「一覧から選択」リストで選択したドライブから媒体読み込みます。
「一覧から選択」リスト	現在使用しているドライブが表示されます。
「ファイルを指定」ラジオボタン	「参照」ボタンを押して、INDEX ファイルを選択します。
「検査を行う」チェック	媒体読み込み時に検査を行うか指定します。 媒体内容の閲覧のみ行なう場合は、チェックを OFF にします。
「開始」ボタン	媒体読み込みと検査を開始します。（「検査を行なう」チェックが OFF の場合は媒体読み込みのみ行います。）


2-2-2 検査

媒体読込（2-2-1）において「検査を行なう」チェックが ON で進んだ場合、基準検査を行ないます。

媒体読込



全体読込
進捗状況



媒体読込中
進捗状況

読込状況 図面管理[JS] 平成30年4月

ログ：

媒体読込環境を整備しています。
1枚目の納品媒体を読込開始します。
必要なファイルを媒体読込環境にコピーしています。
業務管理 平成30年4月
業務管理[JS] 平成30年4月
報告書管理 平成30年4月
報告書管理[JS] 平成30年4月
図面管理 平成30年4月
図面管理[JS] 平成30年4月

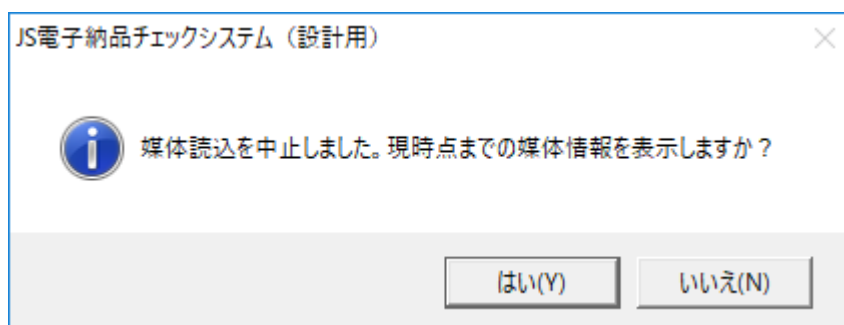
完了 中止

項目	内容
「全体読込」進捗バー	読込処理全体の進捗状況を進捗バーで表示します。
「媒体読込中」進捗バー	読込中のメディアに対して進捗状況を進捗バーで表示します。
「読込状況」テキスト	現在処理中の内容表示を表示します。
「ログ」リストボックス	読込処理の進捗状況を表示します。進捗画面に表示されない詳細情報を表示します。※
「完了」ボタン	結果の表示、印刷に進みます。
「中止」ボタン	読みみを中止します。※※

※検査開始時に該当する各種基準が表示されます。

※指定された INDEX ファイルがどの要領・基準に基づき作成されているか、自動で判断できない場合、要領・基準選択画面が表示される場合があります。

※※途中まで読み込んだ媒体情報を表示するか、または表示しないかを選択します。



2-2-3 結果の確認

1. 結果の表示

媒体読込の「検査を行う」のチェックを ON で媒体読込を行うと、データチェックが行われます。チェックした結果は、表示領域に表示されます。チェック項目は「ファイル構成」、「XML 構成」、「XML 要素内容」、「ファイル内容」の 4 つのタブに分かれます。括弧内の数字は、問題(エラー)となったデータ数及び注意を必要とするデータ数の合計をタブ別に表示しています。

※媒体読込後、再びデータチェック画面を表示させたい場合は、ツールバーの「チェック結果」アイコンまたは「媒体読込」スライドバーの「チェック結果」アイコンを選択します。「検査を行う」のチェックを OFF で媒体読込した場合は、後からデータのチェック結果表示を行うことはできません。

NO	評価	メディア番号	ファイル名	項目名	要素内容
1	エラー	1	INDEX_DJ.XML	業務委託番号	XXX1234.J0
2	注意	1	007D1ABZ.SFC	図面ファイル名	007D1ABZ.S
3	エラー	1	DRAW_JS.XML	実体ファイル名	007D1RBZ.I

2. データチェック機能でチェックする内容

フ ア イ ル 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・フォルダ構成 ・ファイルの整合性（媒体内のファイル保存チェック） ・ファイルの重複
X M L 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・XML 構成チェック（XML 仕様構造のチェック）
X M L 要 素 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・必須項目のチェック ・データ長チェック（チェックシステムではバイト単位でチェックしています） ・データ表現チェック（全角、半角、全角半角混じりなど） ・固定値のチェック ・禁則文字チェック ・ファイルフォーマットチェック（拡張子） ・位置情報のチェック ・入力書式チェック（日付にハイフンを付けるなど）
フ ア イ ル 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書 PDF ファイルの内容チェック （セキュリティ、ファイルサイズ、しおり、サムネール） ・CAD ファイルの内容のチェック（レイヤ名）

3. ファイル内容の確認

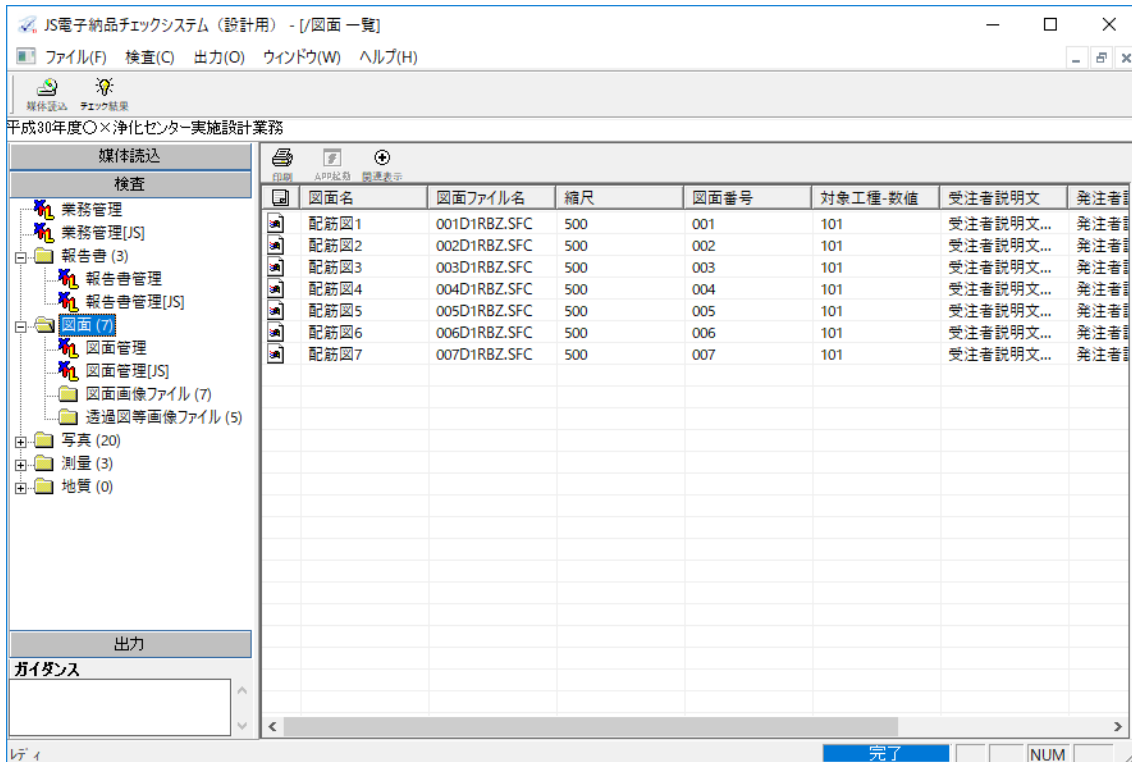
チェック結果表示の結果一覧から、確認したいファイルの行をダブルクリックします。
あるいは「検査」スライドバーのツリー表示から項目を選択します。

・XML ファイルの場合

項目名	値
都市名	〇〇県××町
発注年度	2018
業務委託名称	〇〇浄化センター実施設計業務
業務委託番号	0011234J01
受託業者名	〇〇建設コンサルタント株式会社
下水道根幹施設名	〇〇浄化センター
契約金額	100000000
業務着手年月日	2018年04月01日
業務完了年月日	2018年09月30日
プロジェクトコード	0-01-1234
ドキュメント識別名	実施設計図、実施設計成果物
実施設計図提出ファイル数	7
実施設計成果物提出ファイル数	3
ソフトメカ用TAG	B100000000
ソフトメカ用TAG	B100000001

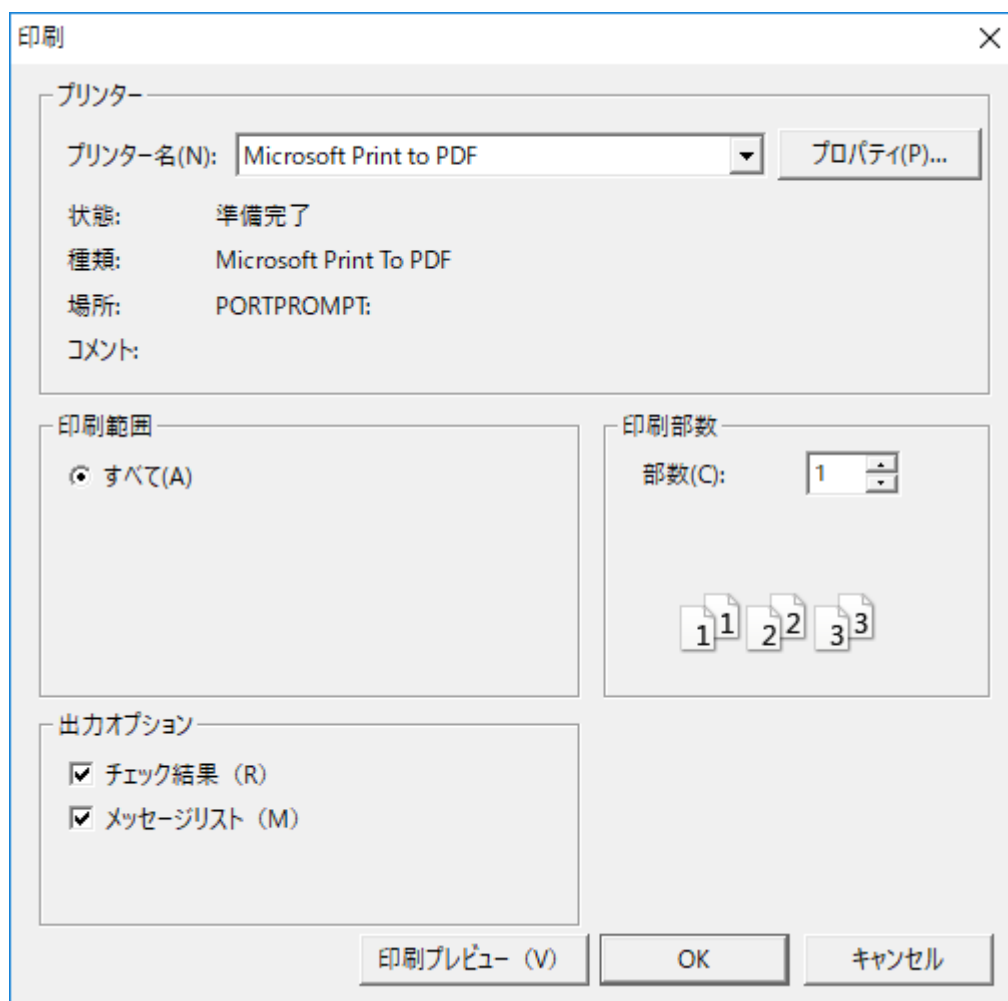
該当のファイル内容が表示されます。XML ファイルはアイコンによる切り替えで XML 表示（タグ形式）、スタイルシート表示（表形式）が選択できます。ただし、XML ファイルにスタイルシートが定義されている成果品を読み込んだ場合は、XML 表示を選択した場合でも、スタイルシート表示を選択した場合と同じ表形式での表示になります。

・ 図面等ファイルの場合



ファイル一覧が表示されます。一部ファイル（打合せ簿、オリジナルファイルなど）については上位ファイル（鏡）が表示される場合があります。
 ファイル一覧の各項目は、選択したフォルダによって異なります

2. プリンタの設定を行い、印刷してください。



出力オプションにおいて、「チェック結果」が実施設計業務等電子納品要領で定められた成果になります。

3. チェック結果の印刷について

業務委託番号の欄に当該業務の登録番号が表示されていることを確認してください。

電子成果品チェック結果

チェック日：2017年12月16日

業務委託名称	平成30年度〇×浄化センター実施設計業務		
業務委託番号	0011234J01		
受託業者名	〇〇建設コンサルタント株式会社		
メッセージ件数	チェック内容	エラー件数	注意件数
	ファイル構成	0件	0件
	XML構成	0件	0件
	XML要素内容	0件	0件
	ファイル内容	0件	0件
適用要領(案)	実施設計業務等電子納品要領		
	業務管理ファイル(国交省ファイル)【INDEX_D.XML】	平成30年4月版適用	
	業務管理ファイル(JSファイル)【INDEX_DJ.XML】	平成30年4月版適用	
	報告書管理ファイル(国交省ファイル)【REPORT.XML】	平成30年4月版適用	
	報告書管理ファイル(JSファイル)【REP_JS.XML】	平成30年4月版適用	
	図面管理ファイル(国交省ファイル)【DRAWING.XML】	平成30年4月版適用	
	図面管理ファイル(JSファイル)【DRAW_JS.XML】	平成30年4月版適用	
チェックシステムVersion	4.00.04		

印字例

2-2-5 システムの終了

メニューから「ファイル」「終了」を選択します。

第3章 リファレンス編



〔この章の概要〕

- ・ 機能解説（メニュー）
- ・ 機能解説（ツールバー）
- ・ 機能解説（スライドバー）
- ・ 右クリックメニュー
- ・ チェック結果表示
- ・ データチェック内容一覧

3-1 機能解説（メニュー）

・ファイルメニュー

「ファイル」メニューはファイルを操作するときに使用します。

メニュー	機能
媒体読込	媒体をチェックシステムに読込ます。
閉じる	作業中の状態を終了します。
終了	チェックシステムを終了します。

・「検査」メニュー

「検査」メニューは検査（チェック結果表示）をするときに使用します。

メニュー	機能
チェック結果表示	媒体のチェック結果を表示します。

・「出力」メニュー

「出力」メニューは検査結果を出力するときに使用します。

メニュー	機能
検査結果	検査結果を出力します。 （「出力」スライダーの「検査結果リスト出力」アイコンの項を参照ください。）

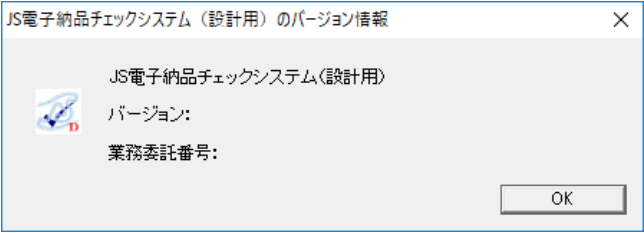
・「ウィンドウ」メニュー

「ウィンドウ」メニューは、現在開いている画面の表示方法の設定を行います。

メニュー	機能
並べて表示	現在開いている画面を並べて表示します。
重ねて表示	現在開いている画面を重ねて表示します。
すべて閉じる	現在開いている画面をすべて閉じます。

・「ヘルプ」メニュー

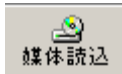
「ヘルプ」メニューは、バージョン情報を表示します。

メニュー	機能
バージョン情報	<p>チェックシステムのバージョン情報を表示します。</p> 

3-2 機能解説（ツールバー）

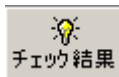
メニューで実行するコマンドで、よく使用するものをアイコンで表示しています。

- ・「媒体読込」アイコン



媒体読込ウィザードを起動し、媒体をチェックシステムに読み込みます。

- ・「チェック結果」アイコン



媒体のチェック結果を表示します。

3-3 機能解説（スライダーバー）

「媒体読込」、「検査」、「出力」スライダーバーがあり、上から順に、検査を実行する手順に沿って作業を行うことができます。



3-3-1 「媒体読込」スライドバー

媒体読込及び、チェック結果を表示します。

- ・「媒体読込」アイコン



媒体読込ウィザードが起動し、媒体を読み込みます。
詳細は「2-2-1 ソフトの操作手順 媒体読込」を参照ください。

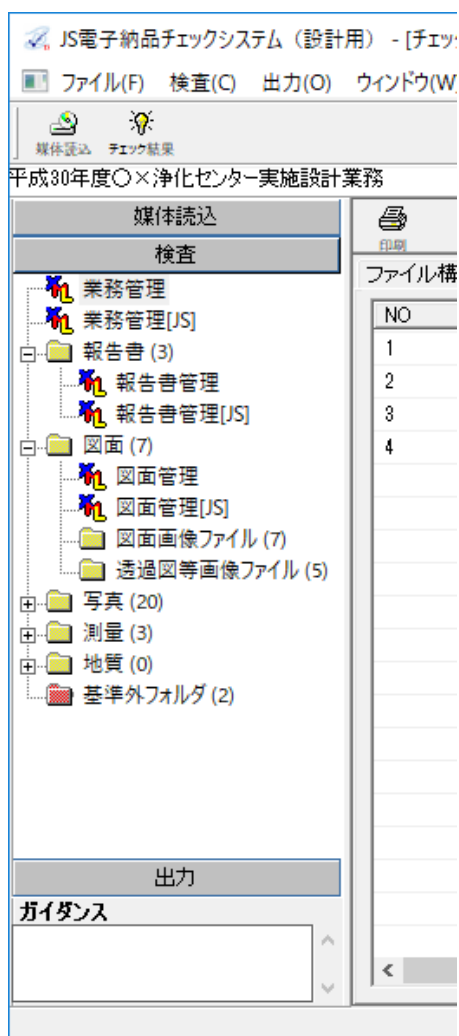
- ・「チェック結果」アイコン



チェック結果を表示します。
詳細は「3-5 チェック結果表示」を参照ください。

3-3-2 「検査」スライドバー

以下画面は「検査」スライドバーの表示です。



◎検査ツリー上のアイコンの説明

・「XML」アイコン



管理ファイルです。
XML プレビュー表示します。

・「フォルダ(黄色)」アイコン



要領・基準に沿ったフォルダです。
詳細一覧表示します。

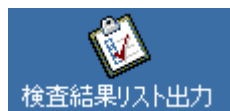
・「フォルダ(赤)」アイコン



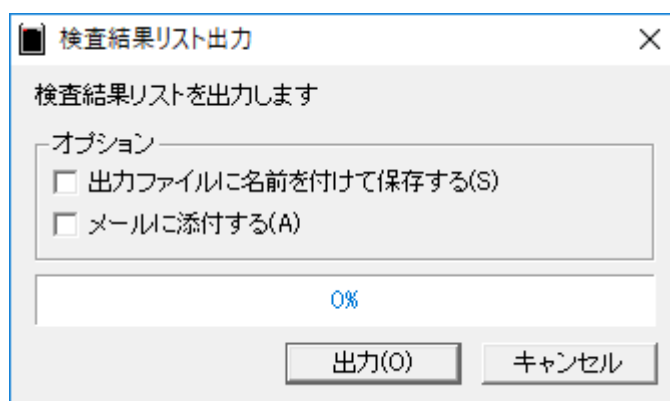
受注者が任意に作成したフォルダ
または、要領・基準に沿っていな
いフォルダです。詳細一覧を表示
します。

3-3-3 「出力」スライドバー

- ・「検査結果リスト出力」アイコン



スライドバー「検査結果リスト出力」アイコンを選択すると、検査結果を出力します。



項目	内容
「出力ファイルに名前を付けて保存する」チェックボックス	「出力ファイルに名前を付けて保存する」チェックボックスにチェックを付けた場合、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。出力形式 HTML、XML(スタイルシート付き)を選択できます。
「メールに添付する」チェックボックス	「メールに添付する」チェックボックスにチェックを付けた場合、出力結果を添付ファイル（HTML 形式）としてメールを起動します。 「出力ファイルに名前を付けて保存する」チェックボックスにチェックを付け、保存先選択ダイアログで XML 形式を選択した場合は、XML(スタイルシート付き)を添付します。
「出力」ボタン	「出力ファイルに名前を付けて保存する」チェックボックスにチェックが付いている場合 →「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。出力形式は HTML、XML(スタイルシート付き)を選択できます。 「出力ファイルに名前を付けて保存する」チェックボックスにチェックが付いていない場合 →結果の表示のみ行います。

※ここでの出力は確認用であり、成果としての出力はチェック結果表示での印刷から行ってください。

3-4 右クリックメニュー

右クリックで表示されるメニュー一覧です。



<ファイル一覧>

メニュー	機能
印刷	図面とファイル名を印刷します。
APP 起動	関連付けされたアプリケーションが起動して、ファイルを開きます。
関連表示	関連ファイル一覧の表示・非表示を切り替えます。

3-5 チェック結果表示











チェック表示画面の主な画面表示です



項目	内容
エラー詳細一覧	<p>各項目についての説明は「◎エラー詳細一覧の項目説明」を参照ください。</p> <p>エラー内容の詳細は「3-6 データチェック内容一覧」を参照ください。</p>
ツールバー	<ul style="list-style-type: none"> ・「印刷」アイコン  成果用チェック結果の印刷を行います。 ・「出力」アイコン  確認用チェック結果を出力します。「検査」スライドバー「検査結果出力」アイコンと同様の機能です。

項目	内容
「ファイル構成」タブ	要領に準拠しフォルダ構成、および管理ファイルバージョンのチェックをします。タブの括弧内の数字は、問題となったデータ数及び注意を必要とするデータ数の合計を表示します。
「XML 構成」タブ	XML 仕様に基づき必要な管理ファイル (XML) が作成されているかチェックをします。タブの括弧内の数字は、問題となったデータ数及び注意を必要とするデータ数の合計を表示します。
「XML 要素内容」タブ	XML 要素内容チェックのエラー{必須項目、データ長、データ表現、固定値、ファイルフォーマット(拡張子)、ファイル命名規則(関連付け、最大数)、位置情報}を表示します。タブの括弧内の数字は、問題となったデータ数及び注意を必要とするデータ数の合計を表示します。
「ファイル内容」タブ	ファイル内容チェックのエラー{PDF 設定、CAD (レイヤ) }をチェックします。タブの括弧内の数字は、問題となったデータ数及び注意を必要とするデータ数の合計を表示します。

◎エラー詳細一覧の項目説明

タブ	項目	内容
ファイル構成	NO	表示された行に 1 から順番に番号を割り付けます。
	評価	 「エラー」アイコン、  「注意」アイコンを表示します。
	ファイル名	対象となるファイル名を表示します。
	メッセージ	評価の具体的な内容が記載されます。
XML構成	NO	表示された行に 1 から順番に番号を割り付けています。
	評価	 「情報」アイコン、  「エラー」アイコン、  「注意」アイコンを表示します。
	メディア番号	対象となるファイルの媒体が何枚目にあたるか表示します。
	ファイル名	対象となるファイル名を表示します。
	メッセージ	評価の具体的な内容が記載されます。
XML要素内容	NO	表示された行に 1 から順番に番号を割り付けます。
	評価	 「エラー」アイコン、  「注意」アイコンを表示します。
	メディア番号	対象となるファイルの媒体が何枚目にあたるか表示します。
	ファイル名	対象となるファイル名を表示します。
	項目名	対象となった項目名を表示します。
	要素内容	要素
	メッセージ	評価の具体的な内容が記載されます。
ファイル内容	NO	表示された行に 1 から順番に番号を割り付けます。
	評価	 「情報」アイコン、  「エラー」アイコン、  「注意」アイコンを表示します。
	メディア番号	対象となるファイルの媒体が何枚目にあたるか表示します。
	ファイル名	対象となるファイル名を表示します。
	メッセージ	評価の具体的な内容が記載されます。

3-6 データチェック内容一覧

【】…XML 項目名、×…エラー、『 』…入力値、△…注意、[] …入力必須値

NO	チェック内容	メッセージ	メッセージ内容	評価
共通				
1	共通チェック	必須項目に入力されていません。	管理項目設定で必須項目に設定している項目に、データが入力されていません。	×
2	共通チェック	データ長が[***]文字(半角)を超えています。	管理項目設定で設定しているデータ長を超えています。	×
3	共通チェック	桁数が[***]桁でなければなりません。	管理項目設定で設定しているデータ長が指定の桁数ではありません。	×
4	共通チェック	データ表現[***]以外の文字が使用されています。	管理項目設定で設定しているデータ表現以外の文字を入力していません。	×
5	共通チェック	禁則文字『***』が使用されています。	要領・基準等で制限されている禁則文字『***』が入力されています。	×
6	共通チェック	媒体に含まれる[***]は公開されている DTD ファイルと一致していない可能性があります。	媒体に含まれる[***]は公開されている DTD ファイルと一致していない可能性があります。	△
7	共通チェック	[***]枚目と[***]枚目の管理ファイルの内容が異なります。	[***]枚目と[***]枚目の管理ファイルの内容が異なります。	×
8	共通チェック	基準外フォルダが存在します	要領に沿っていないフォルダが存在します。※	×
9	重複データチェック	番号が[1]から開始されていません。	写真などのシリアル番号が1以外の番号から開始しています。	×
10	重複データチェック	データが重複しています。	XML に記述されているデータ内容が重複しています。	×
11	重複データチェック	【シリアル番号】が重複しています。	写真などの【シリアル番号】が重複しています。	×

NO	チェック内容	メッセージ	メッセージ内容	評価
共通				
12	重複データチェック	ファイル名が重複しています。管理ファイル(XML)を確認してください。	ファイル名が重複しています。管理ファイル(XML)を確認してください。	×
13	重複データチェック	ファイルが重複しています。納品媒体内を確認してください。	ファイルが重複しています。納品媒体内を確認してください。	×
14	重複データチェック	CAD 製図基準(案)において既に定義されている図面種類略語です。図面種類略語を変更してください。	既に定義されている図面種類略語です。	×
15	重複データチェック	【***】の【***】に同じファイルが記入されています。	同じファイルが記入されています。確認してください。	×
16	整合チェック	ファイルフォーマット(拡張子)『***』は未定義です。ただし、受発注者協議により決定したものであれば問題ありません。	拡張子設定で設定している拡張子以外の拡張子を入力しています。	△
17	整合チェック	ファイルが【***】フォルダに存在しません。	媒体及びハードディスク上にコピーしたイメージ内のファイルが【***】フォルダに存在していません。	×
18	整合チェック	【***】フォルダが存在しません。	XML に書かれたフォルダが存在しません。	×
19	命名チェック	ファイル名が命名規則に従っていません。	要領・基準等で制限されているファイル名以外の名前を入力しています。	×
20	命名チェック	8.3形式のファイル名ではありません。	要領・基準等で制限されているファイル名(8文字)、拡張子(3文字)以外の形式の名前を入力しています。	×
21	命名チェック	ファイル名が命名規則	ファイル名の固定文字部分が命名	×

NO	チェック内容	メッセージ	メッセージ内容	評価
共通				
		に従っていません。固定文字部分が一致しません。	規則と一致していません。	
22	命名チェック	ファイル名が命名規則に従っていません。可変部分が不正です。	ファイル名の可変部分が命名規則と一致していません。	×
23	命名チェック	『***』が命名規則に従っていません。固定文字部分が一致しません。	『***』の固定文字部分が命名規則と一致していません。	×
24	命名チェック	『***』が命名規則に従っていません。可変部分が不正です。	『***』の可変部分が命名規則と一致していません。	×
25	書式チェック	[CCYY-MM-DD]形式の日付データではありません。	規定されている日付の形式が一致していません。	×
26	書式チェック	実際に存在する日付ではありません。	実在しない日付が入力されています。	×
27	書式チェック	[MM:DD]形式の時間データではありません。	規定されている時間の形式が一致していません。	×
28	書式チェック	実際に存在する時間ではありません。	実在しない時間が入力されています。	×
29	書式チェック	【***】桁の整数ではありません。	規定されている【***】桁数の整数を入力していません。	×
30	書式チェック	桁数が【***】桁でなければなりません。	規定されている桁数【***】桁を入力していません。	×
31	書式チェック	桁数が【***～***】桁でなければなりません。	規定されている桁数【***～***】を入力していません。	×
32	書式チェック	正負【1】桁、整数値【***】桁以下、小数点【1】桁、小数点以下最大【***】桁でなければなりません。	規定されている桁数を入力していません。	×

NO	チェック内容	メッセージ	メッセージ内容	評価
共通				
33	固定データチェック	ICON 対象は「2」を記入しなければなりません。	ICON 対象は「2」を記入しなければなりません。	×
34	固定データチェック	BIMCIM 対象は「2」を記入しなければなりません。	BIMCIM 対象は「2」を記入しなければなりません。	×
35	数値範囲チェック	データが範囲の上限値【**】を超えています。	規定されている上限値を超えています。	×
36	数値範囲チェック	データが範囲の下限値【**】を超えていません。	規定されている下限値を下回っています。	×
37	緯度・経度チェック	度は【**】～【**】の範囲で入力してください。	経度は-180～180、緯度は-90～90 の範囲の値を入力してください。	×
38	緯度・経度チェック	分は【**】～【**】の範囲で入力してください。	0～59 の範囲の値を入力してください。	×
39	緯度・経度チェック	秒は【**】～【**】の範囲で入力してください。	0～59 の範囲の値を入力してください。	×
40	緯度・経度チェック	【**】が日本の国土を含む境界座標の範囲外となっています	緯度は 202514～453319、経度は 1535912～1225559 の範囲の値を入力してください。	×
41	データ比較チェック	【**】は【**】より大きい値でなければなりません。	【**】は規定されている値以下です。	×
42	データ比較チェック	【**】は【**】より小さい値でなければなりません。	【**】は規定されている値以上です。	×
43	データ比較チェック	【**】は【**】以上の値でなければなりません。	【**】は規定されている値より小さいです。	×

NO	チェック内容	メッセージ	メッセージ内容	評価
共通				
44	データ比較チェック	【***】は【***】以下の値でなければなりません。	【***】は規定されている値より大きいです。	×
45	データ比較チェック	【***】または【***】のどちらかにデータが入力されていなければなりません。	【***】または【***】にデータが入力されていません。	×
46	データ比較チェック	【***】に存在する値でなければなりません。	【***】に存在しない値です。	×
47	データ比較チェック	対象工種-数値（共通情報）と対象工種（図面情報）の値が一致しません。	対象工種-数値（共通情報）と対象工種（図面情報）の値を一致してください。	×
48	データ比較チェック	報告書オリジナルファイル名の REPnn_mm と報告書ファイル REPORTnn の nn が一致しません。	nn を一致させてください。	×
49	場所情報チェック	【境界座標緯度経度】を記入してください。	【境界座標緯度経度】を記入してください。	×
50	場所情報チェック	東西南北の境界座標を全て記入してください。平面直角座標の場合は【平面直角座標系】も記入してください。	東西南北の境界座標を全て記入してください。平面直角座標の場合は【平面直角座標系】も記入してください。	×
51	場所情報チェック	施設情報の入力がありません。【施設情報緯度・経度】または【施設情報平面直角座標系番号、X座標、Y座標】を記入してください。	【施設情報緯度・経度】または【施設情報平面直角座標系番号、X座標、Y座標】が記入されていません。	×
52	場所情報チェック	[境界座標情報]が【住所コード】の都道府県市区町	[境界座標情報]が【住所コード】の都道府県市区町村の境界の範囲外に	×

NO	チェック内容	メッセージ	メッセージ内容	評価
共通				
		村の境界の範囲外になっています。	なっています。	
53	場所情報チェック	【施設情報緯度・経度】が境界座標の領域の範囲外になっています。	【施設情報緯度・経度】が境界座標の領域の範囲外になっています。	×
54	場所情報チェック	ボーリング位置が境界座標の領域の範囲外になっています。	ボーリング位置が境界座標の領域の範囲外になっています。	×
55	場所情報チェック	住所名に誤りがあります。	住所に住所コードに該当する都道府県名、または管内が含まれていません。住所コードが 99999 の場合でも空欄は認められていません。	×
56	XSL チェック	管理ファイルにスタイルシートの宣言が記載されていません。	管理ファイルの三行目にスタイルシートの宣言を記載してください。	×
57	XSL チェック	スタイルシート名が命名規則に従っていません。	管理ファイルに要領・基準で規定されている名称で宣言を記載してください。	×
58	XSL チェック	スタイルシートが存在しません。	管理ファイルに宣言されているスタイルシートファイルを電子成果品に格納してください。	×

※基準外フォルダが存在する場合の原因として考えられる例

- ①要領で定められた以外のフォルダ名が存在する。
- ②管理ファイルで指定されていないファイルが存在する。
- ③管理ファイルあるいは DTD ファイルが存在しない。
- ④管理ファイルあるいは DTD ファイルの内容が不正。

図面				
1	CAD 場所情報 チェック	基準点情報の入力完全ではありません。 [平面図][案内図]の場合は、必ず【基準点情報 緯度・経度】または【基準点情報 平面直角座標系番号、X座標、Y座標】 を記入して下さい。(PL、LCの場合)	[平面図][案内図]に【基準点情報 緯度・経度】または【基準点情報 平面直角座標系番号、X座標、Y座標】 が記入されていません。	△
2	CAD 図面チェック	ファイル名が命名規則に従っていません。	規定されているファイル命名規則と合っていません。	×
3	CAD 図面チェック	8.3 形式のファイル名になっていません。	規定されているファイル名(8文字)、 拡張子(3文字)以外の形式の名前を入力しています。	×
4	CAD 製図基準適合チェック	図面サイズ[****×****]は基準に適合していません。	使用可能図面サイズは A1～A4 です。 (高さ、幅)・・・逆も可 (841,594) (594,420) (420,297) (297,210)	×
5	CAD 製図基準適合チェック	文字列[***]に禁則文字[***]が含まれています。	電子納品要領(案)で規定されている文字のみ使用可能です。	×
6	CAD 製図基準適合チェック	文字列[***]に禁則文字(半角カタカナ)[*]が含まれています。	カタカナは全角のみ使用可能です。	×
7	CAD 製図基準適合チェック	文字列[***]に全角英数字が含まれています。	英数字は半角のみ使用可能です。	×
8	CAD 製図基準適合チェック	基準外のレイヤ[***]に要素が含まれています。	使用可能レイヤ名は、指定する図面に存在するものです。	×
9	CAD 製図基準適合チェック	外枠の線種が基準に適合していません。	使用可能線種は「実線」のみです。	×
10	CAD 製図基準適合チェック	外枠の線幅が[*.*]mm ではありません。	使用可能線幅は下記の通りです。 1.40mm	△
11	CAD 製図基準適合チェック	上(下左右)側の※余白が[#0.0]mm 以上必要です。	上下左右マージンは、20mm 以上	△
12	図面管理	図面名に半角カンマ[,]が含まれています。	図面名に半角カンマは使用できません。	×

報告書				
1	PDF チェック	セキュリティ全般	PDF にセキュリティを設定してはいけません。	×
2	PDF チェック	PDF ファイルにしおりが作成されていません。	報告書 PDF ファイルにしおりが作成されていません。	△
3	PDF チェック	PDF ファイルにサムネールが作成されていません。	報告書 PDF ファイルにサムネールが作成されていません。	△
4	PDF チェック	PDF ファイルのサイズが[***]MB を超えています。	報告書 PDF ファイルのサイズが[***]MB を超えています。	△
5	PDF チェック	圧縮された PDF ファイル※である可能性のため、PDF ファイルチェックは行いません。目視にて確認をしてください。	しおりを含めた PDF ファイルのチェックを、PDF ファイルを直接開いて確認を行ってください。	△
6	PDF チェック	圧縮された PDF ファイル※である可能性のため、しおり以外の PDF ファイルチェックは行いません。目視にて確認をしてください。	しおり以外の PDF ファイルのチェックを、PDF ファイルを直接開いて確認を行ってください。	△

※圧縮された PDF ファイル

Adobe Acrobat Distiller の設定にある「オブジェクトレベルの圧縮」の設定を[最高]の状態
で PDF ファイルを作成すると PDF ファイルを正常に読み取ることができず上記のメッセ
ージが表示される場合があります。その場合は、設定を[最高]以外にして PDF ファイルを
作成してください。

INDEX_DJ				
1	INDEX_DJ	データ表現[全角（半角数字のみ)]以外の文字が使用されています。	発注年度、業務着手年月日、業務完了年月日に半角英文字は使用できません。	×
2	INDEX_DJ	[CCYY年MM月DD日]形式の日付データではありません。	規定外の形式は使用できません。	×
3	INDEX_DJ	プロジェクトコードに英文字[A-Z]または数字[0-9]、[-]以外の文字が含まれています。	規定外の文字は使用できません。	×
4	INDEX_DJ	"発注年度"と"業務委託名称"を足した文字列が、INDEX_D.XMLの業務名称と一致しません。	"発注年度"と"業務委託名称"を足した文字列は、INDEX_D.XMLの業務名称と一致する必要があります。	×
5	INDEX_DJ	INDEX_D.XMLの"設計書コード"と一致しません。	業務委託番号はINDEX_D.XMLの"設計書コード"と一致する必要があります。	×
6	INDEX_DJ	INDEX_D.XMLの"受注者名"と一致しません。	受託業者名はINDEX_D.XMLの"受注者名"と一致する必要があります。	×
7	INDEX_DJ	INDEX_D.XMLの"施設名称"と一致しません。	下水道根幹施設名はINDEX_D.XMLの"施設名称"と一致する必要があります。	×
8	INDEX_DJ	INDEX_D.XMLの"履行期間-着手"と一致しません。	業務着手年月日はINDEX_D.XMLの"履行期間-着手"と一致する必要があります。	×
9	INDEX_DJ	INDEX_D.XMLの"履行期間-完了"と一致しません。	業務完了年月日はINDEX_D.XMLの"履行期間-完了"と一致する必要があります。	×

REP_JS.XML				
1	REP_JS	実施設計成果物番号の書式エラー	実施設計成果物番号は Y-[0-9A-Z]{3}-[0-9A-Z]{6}-[0-9A-Z]{5} の形式でなければなりません。	×
2	REP_JS	WBS コードエラー	マスタに存在しない施設 WBS コードもしくは作業 WBS コードを使用してはいけません。	×
3	REP_JS	提出ファイル名と報告書ファイル名の総数が一致しません。	提出ファイル名と報告書ファイル名の総数は一致する必要があります。	×
4	REP_JS	報告書ファイル名に一致する値がありません。	提出ファイル名と報告書ファイル名は一致する必要があります。	×
5	REP_JS	実施設計成果物番号の連番が提出ファイル名の連番と一致しません。	提出ファイル名と実施設計成果物番号の末尾 5 桁の連番は一致する必要があります。	×
6	REP_JS	提出ファイル名が重複しています。	提出ファイル名は一意でなければなりません。	×

DRAW_JS.XML				
1	DRAW_JS	実施設計図番号の書式エラー	実施設計図番号は Y-[0-9A-Z]{3}-[0-9A-Z]{6}-[0-9A-Z]{5} の形式でなければなりません。	×
2	DRAW_JS	WBS コードエラー	マスタに存在しない施設 WBS コードもしくは作業 WBS コードを使用してはいけません。	×
3	DRAW_JS	実体ファイル名と図面ファイル名の総数が一致しません。	実体ファイル名と図面ファイル名の総数は一致していなければなりません。	×
4	DRAW_JS	図面ファイル名に一致する値がありません。	実体ファイル名と図面ファイル名は一致していなければなりません。	×
5	DRAW_JS	実施設計図番号の連番が実体ファイル名の連番と一致しません。	実体ファイル名と実施設計図番号の末尾 5 桁が一致していなければなりません。	×
6	DRAW_JS	図面種別コードの値が [JS] で定義されていない値です。	図面種別コードの値が規定値でなければなりません。	×
7	DRAW_JS	ファイル名が命名規則に従っていません。可変部分が不正です。	VIEW フォルダのファイル名が不正です。	×
8	DRAW_JS	[DRAWING¥IMAGE] フォルダが存在しません。	IMAGE フォルダは必須です。	×
9	DRAW_JS	[XXXXXXXXX.SFC (.P21)]の図面画像ファイル[PDF] が存在しません。	IMAGE フォルダ内の PDF ファイルが図面ファイルと対でなければなりません。	×
10	DRAW_JS	実体ファイル名が重複しています。	ファイル名は一意でなければなりません。	×

第 4 章 設定の初期化



〔この章の概要〕

- ・ 業務設定情報の初期化
- ・ 媒体情報保存場所の初期化

4-1 業務設定情報の初期化

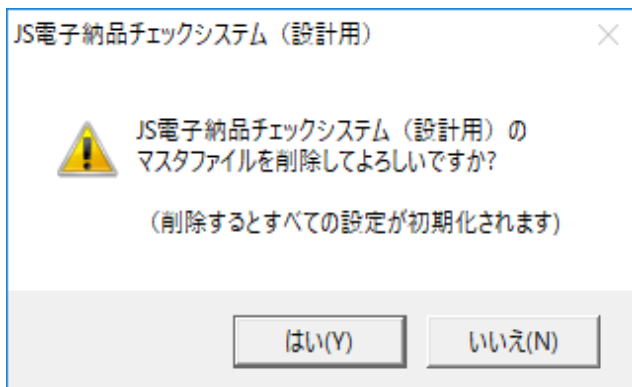
・業務設定情報の初期化

チェックシステムはハードディスク内にコピーされた設定情報を使用してチェックを行います。この設定情報はアンインストール作業を行っても消去されません。設定情報をコンピュータ内から完全に削除したい場合や、チェックシステムの動作が不安定になった場合、初期化を行って設定情報を消去する必要があります。

・初期化手順

「スタート」「プログラム」「JS 電子納品システム」「JS 電子納品チェックシステム（設計用）－設定情報初期化」を起動してください。

確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンを押してください。



4-2 媒体情報保存場所の初期化

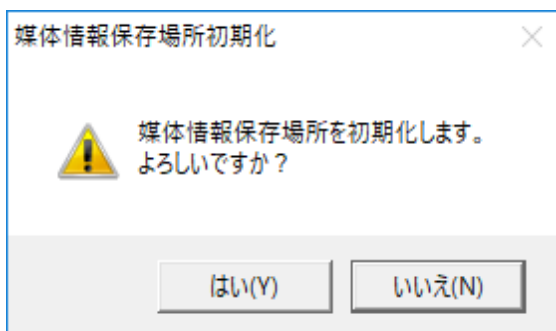
・媒体情報保存場所の初期化

チェックシステムはハードディスク内に一時的に媒体を保存してチェックを行います。チェックシステムを初めて起動した場合、自動的に媒体情報保存場所を設定します。基本的にこの保存場所を変更する必要はありませんが、変更の必要がある場合は以下の手順で初期化を行ってください。

・初期化手順

「スタート」「プログラム」「JS 電子納品システム」「JS 電子納品チェックシステム（設計用）－媒体情報保存場所初期化」を起動してください。

確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンを押してください。



本書記載の商標

- ・ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

JS 電子納品チェックシステム（設計用）

日本下水道事業団